

地協東京News No.1



2018年11月21日
 全損保 地域協働会東京
 中央区新川2-8-4
 八重洲長岡ビル7階
 info@niu.or.jp

2019年度も、「地域協働会（地協）東京」は、毎月第3水曜日にあつまり、各支部・独立分会の協力のもと、「交流・共同の場」へ積極的に参加し、運営にも協力していきます。

すでに開催された10月の本部オルグや11月の女性のつどいへの参加については、この「地協東京ニュース」で報告します。

これから開催される、1月の「ボウリング大会」や、4月の「バーベキュー大会」、7月の「サマージャンボリー」のほか、職種別交流会など、仲間があつまり、話し合える場への企画・運営の協力も行います。



また、参加を通じて、損保に働く仲間が職場の違いをこえた「横のつながり」を実感し、一人ひとりの不安や不満の声を共有して、思いを交流できるとりくんでいきます。

10月17日(水)本部オルグ東京開催!



10月17日(水) 麹町のエデュカス東京 地下会議室で行われた東京の本部オルグには、13支部分会から44名の仲間があつまりました。

全損保本部の荒木書記長から、とりまく情勢の説明、秋のたたかひの骨格と具体的とりくみを聞き、全損保結成70周年に向けて組合員が集まり語り合うことの大切さを確認しました。

各支部分会の参加者からは、災害対応で悪化している労働実態の報告が行われました。

司会は、地協東京から、チューリッヒ分会の滝浦さんが行い、2019年度がスタートしました。

11月10日(土)女性のつどい開催!



総合司会の向井さん
 (あいおいニッセイ同和)

11月10日(土) 麹町のエデュカス東京 7階で開催された「女性のつどい」には、地協東京からの参加も含めて83名が集まり、物産市の販売員になったり、企画を体験したり、1日中楽しみました。

フリータイムでは、ハーバ消しゴムはんこを作ったりと、自由に楽しめるブースが並んでいました。

また、お弁当の販売や、フリードリンクコーナーも充実。物産市では各地の美味しそうなお酒やつまみが並んでいたり、バザーのコーナーでは良いものを安く購入できたり、手作り品(革の編み込みプレスレット、木彫り細工、針金細工)もたくさん並び、ケニアから手作り民芸品が並びました。いつまでいても飽きないように工夫されていました。今回が初めてという、コンフェクションという菓子店から、グルテンフリーや、ローカロリーの菓子が並び、あっという間に品切れるものもあり、会場はにぎわっていました。

針金細工・木彫り細工・ケニアの民芸品



タロット占い(上)

物産市(下)



整体体験



ネイルアート



ハーバリウム体験



革細工



消しゴムはんこ

その後、全員で身体をほぐす「みんなで体操」の時間があり、浦上委員長の講演、アンサンブル“アクアレーラ”の生演奏を聴き、参加者の代表が感想を話し、そのまま会場でオードブルを食べながら懇親会がありました。

浦上委員長の講演にあったように、実行委員メンバーが参加してくれる仲間を思い、手作りで続いてきた「女性のつどい」。実際に参加してみないとその良さは解らないし伝わらないと実感し、次回は一人でも多くの仲間を誘って参加してもらいたいと思いました。



みんなで簡単体操は、組合員がモデルになって



浦上委員長の熱の入った講演



組合員のウクレレ発表会に
リコーダーの入った贅沢な時間



リコーダーとギターの生演奏に心が癒され

《東京金融共闘便り》



井出敏之
(日動外勤支部)

東京金融共闘会議とは、信用金庫、信用組合、銀行、証券、保険など、業務実態や上部組織にこだわらず、正規・非正規を問わず、金融で働く全ての労働者が集まり語り合える場で、全損保の地協東京からは日動外勤支部の井出が幹事(議長)として選出され、参加しています。

かつて日動外勤のたたかいなど、いわゆる「金融3争議共同行動」の際には、金融で働く多くの仲間が裁判傍聴や抗議行動に集まりその解決に力を注いできました。最近では、「金融の職場におけるパワハラ実態調査」や、非正規・派遣労働者の労働条件の改善にも取り組んでいます。

毎月1回開催の幹事会では、金融業界の情報交換と経済金融・労働情勢について学習を行っています。

10月20日には、拡大幹事会として、東証健保熱海保養所に全損保元委員長の瀧徹次氏を招き「奇跡のバトンリレーとそれを阻む戦争・原発・環境破壊『人間進化の原点』を受け継ぐ労働組合」と題した基調講演をしていただき、平和と労働組合の関りについてディスカッションを行いました。地協東京からもオブザーバーとして4名が参加し、平和について学び、金融の仲間との懇親も深めることができました。

12月13日(木)には、年次総会が行われます。金融の職場で今、何が起きているのか、何に悩み、どう解決しているのかを知る機会にもなります。誰でも参加できますので、地協東京までご連絡ください。

東京金融共闘年次総会
12月13日(木)18:30 開会
エデュカス東京 5階会議室

《第64回母親大会(高知)に参加して》



生命(いのち)を生み出す母親は
生命(いのち)を育て
生命(いのち)を守ることをのぞみます

向井浩子
(あいおいニッセイ同和支部)

私が日本母親大会に初めて参加したのは、若い若い26歳のころです。どんな集まりなのか分からずに参加しました。母親でもない結婚もしていないし、そんな私が参加してもいいの?と思いました。このように思いもなかつた参加したのですが、参加してその思いが変わったのです。未来の母親、子供の命を守る父親、誰でも命を大事に思っている人であれば参加できる大会でした。

そして冒頭に書いたスローガンに魅了され、それから何十回も参加しています。1年に1回、母親大会で会う仲間もいます。会える喜びとまた1年頑張ろうと誓うのです。

今年の開催地「高知」は、「自由民権運動発祥の地」「女性参政権発祥の地」です。私は高知に行ったことがなかったので、絶対行きたい思いで1年前から計画を立て始めました。昨年9月、日新支部の方と飲み会で一緒になりました。そして偶然にもその方が高知から来ていたのです。早速2018年8月に母親大会で高知に行くことを伝え、案内役をお願いしたところ、快く引き受けてくれました。全損保の横のつながりは素晴らしいですね。そして高知では、会場までの送迎や懇親会場予約など、いろいろお世話になりました。

1日目は全体会で、一橋大学名誉教授:渡辺治さんの講演です。戦後改憲の企てと国民の戦いをあとづけながら「幅広い共同をさらに強く大きくし、秋の戦いで頑張りましょう」と締めくくられました。

2日目は、分科会です。「歴史の真実を学ぼう」に参加しました。日本の被害と加害について慰安婦問題にも触れました。戦争は殺し合い傷つけ合うだけでなく、その後の歴史にもずっと傷を残して、子供たちを傷つけます。後悔しても元に戻すことはできません。

毎年暑い夏になると、平和について考えるきっかけが母親大会です。来年は静岡で開催されます。

地協東京は、損保ではたらく仲間ならどなたでも参加できます。
毎月第3水曜の19時~全損保本部書記局で集まっています。
お気軽にお問い合わせください。⇒03-3551-7131

